【東京都教育委員会】

一人1台端末の利活用に係る計画

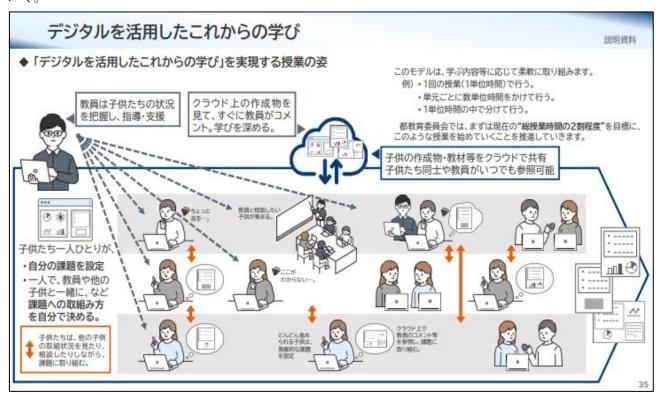
1. 一人1台端末をはじめとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

「未来の東京」に生きる子供たちが「自らの個性や能力を伸ばし、様々な困難を乗り越え、人生を切り 拓いていくことができる」、「他者への共感や思いやりを持つとともに、自己を確立し、多様な人々が共に 生きる社会の実現に寄与する」ため、学校教育の情報化を通じて以下の実現を目指していく。

すべての子供が将来への希望を持って、自ら伸び、育つ 〜デジタルの力を活かして、一人ひとりの力を伸ばしていく〜

これからの変化の激しい社会において、子供たちには、生涯にわたって遭遇する課題や抱える悩みにしっかりと向き合い、能動的に解決しながら生きていこうとする姿勢が求められる。この素地を養うため、学校においては、誰一人取り残さず、児童・生徒一人ひとりが自らの希望や意思に基づいて学び、自らの個性や能力を伸ばしていける教育が必要である。そのために、都教育委員会は教員の知見とデジタルの力を最適に組み合わせて学び方・教え方を改革し、「デジタルを活用したこれからの学び」を研究・推進、子供たちの主体的・対話的で深い学びの実現を図っていく。

「デジタルを活用したこれからの学び」とは、新たな時代に対応した、これまでと大きく異なる授業の姿である。この基となるものは、令和3年の中央教育審議会答申の中で提唱された、「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」として示された考え方である。ICTの積極的な活用や情報活用能力の育成を重視している学習指導要領の趣旨や答申の考え方を踏まえ、目指すべき新しい時代の授業の姿として、「デジタルを活用したこれからの学び」に取り組み、全ての子供たちの可能性を引き出していく。



東京都学校教育情報化推進計画(令和6年3月東京都教育委員会)

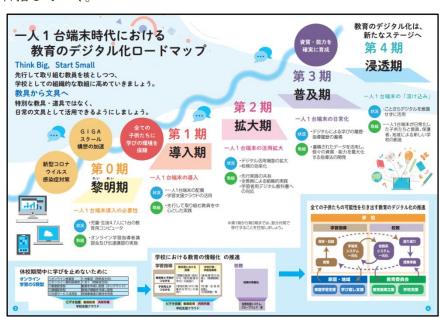
2. GIGA 第1期の総括

都立学校では、令和元年度以降「TOKYO スマート・スクール・プロジェクト」を推進し、児童・生徒の一人1台端末や校内無線 LAN 環境、学習支援クラウドサービス等の ICT 環境整備に取り組んできた。こうした取組みにより、授業において、子供たちが端末を用いて自らの課題意識に基づき情報収集することや、クラウドを活用し資料を共同編集することなどもできる環境が整備された。

学習者用端末の利活用については、令和3年2月に学習者用端末の活用を図るため一人1台端末の効果的な活用に向けたリーフレットを作成し周知するとともに、都内全公立学校を対象に毎年、研修を実施するなどして普及・啓発を実施してきた。また、情報教育に関する情報を掲載するためのポータルサイト「とうきょうの情報教育」を開設し、先進校の実践事例・実践動画や資料等を随時周知するなどして、一人1台端末の活用について支援を行った。

その結果、多くの学校で授業や行事、校務等で端末の活用が拡大し、学校での活用は拡大期から普及期へと進んだ。一方で、授業での活用については、教員が統制している中での活用場面が多く、都が目指す「子供たちが文具のように端末を日常的に活用する」という点については改善を図っていく必要がある。このような課題を改善するため GIGA 第2期では、「デジタルを活用したこれからの学び」についてさらに研究を推進し、教師の指導観などを転換し、授業改善を図ることで、誰一人取り残さず、子供たち一人ひとりの力を伸ばしていくことを目指していく。





一人1台端末の効果的な活用に向けたリーフレット(令和3年2月 東京都教育委員会)

3. 一人1台端末の利活用方策

これらの現状を踏まえ、以下のとおり、一人1台端末の効果的な利活用推進に向けて取り組んでいく。

(1) 一人1台端末の積極的活用

- ・学校のICT利活用の推進及び児童・生徒の情報活用能力の組織的な育成のため教員に対し研修を 実施する。
- ・授業等で教員と連携して一人1台端末の活用を一層推進するためデジタルサポーター(ICT支援員)を全校に常駐配置する。
- ・児童・生徒が授業で一人1台端末を週3回以上活用する。

(2) 個別最適・協働的な学びの充実

- ・児童・生徒が自分で調べる場面において一人1台端末を週3回以上使用する。
- ・児童・生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面において一人1台端末を週3回以上使用する。
- ・児童・生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面において一人1台端末を週 3回以上使用する。

(3) 学びの保障

- ・障害のある児童生徒や病気療養児等、特別な支援を要する児童・生徒の実態等に応じて端末を活用 した支援を実施する。
- ・子供が学校に来ることができない状況に備え、教員と児童・生徒の双方がオンライン学習を円滑に 実施できるように平時において訓練としてオンライン学習デーを実施する。